2026年11月27日

各　位

会社名　アゼアス株式会社
代表者名　代表取締役社長　斉藤文明
（コード番号：３１６１　東証スタンダード市場）
問合せ先　取締役執行役員　鈴木一裕
（TEL. 03-3865-1311）

業績予想の修正に関するお知らせ

2026年９月11日に公表いたしました、2027年４月期第２四半期（中間期）の業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

１．業績予想の修正について

2027年４月期第２四半期（中間期）連結業績予想数値の修正（2026年５月１日～2026年10月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する中間純利益	1株当たり中間純利益
前回発表予想（A）	百万円 4,057	百万円 58	百万円 60	百万円 29	円 銭 5.07
今回発表予想（B）	4,114	90	92	49	8.67
増減額（B－A）	56	31	31	20	
増減率（%）	1.4	53.5	52.5	71.0	
（ご参考）前期第２四半期実績（2026年４月期第２四半期）	3,777	12	21	4	0.86

2027年４月期第２四半期（中間期）個別業績予想数値の修正（2026年５月１日～2026年10月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益	1株当たり中間純利益
前回発表予想（A）	百万円 3,901	百万円 81	百万円 89	百万円 58	円 銭 10.20
今回発表予想（B）	3,951	112	122	78	13.80
増減額（B－A）	49	30	32	20	
増減率（%）	1.3	37.7	36.7	35.3	
（ご参考）前期第２四半期実績（2026年４月期第２四半期）	－	－	－	－	－

（注）当社は、2026年４月期第２四半期（中間期）においては、個別の中間財務諸表を開示していないため、2026年４月期第２四半期（中間期）の個別実績の記載をしておりません。

修正の理由

（１）第２四半期（中間期）連結業績予想の修正理由

当第２四半期連結累計期間において、主力の防護服・環境資機材事業は、地政学リスクの高まりを受け、既存マーケットにおいて、化学防護服を中心に個人用保護具の安定調達に向けた動きが広まるとともに、ライフマテリアル事業アパレル資材分野は、食品工場白衣の副資材販売が堅調に推移し、スクールウェアにおいても需要回復の兆しが見られた結果、売上高は前回発表予想を上回る見通しです。利益面においても、上記のとおり、防護服・環境資機材事業とライフマテリアル事業アパレル資材分野の売上貢献により、前回発表予想を上回る見通しです。

以上の結果、売上高は前回発表予想額より56百万円増加の4,114百万円、営業利益は31百万円増加の90百万円、経常利益は31百万円増加の92百万円、親会社株主に帰属する中間純利益は20百万円増加の49百万円に各々修正いたします。

（２）第２四半期（中間期）個別業績予想の修正理由

修正理由につきましては、（１）の連結業績予想の修正理由に記載の要因により、売上高は前回発表予想額より49百万円増加の3,951百万円となり、それに伴い営業利益は30百万円増加の112百万円、経常利益は32百万円増加の122百万円、中間純利益は20百万円増加の78百万円に各々修正いたします。

（３）通期の連結及び個別業績予想について

通期業績につきましては、（１）の連結業績予想の修正理由に記載の要因により、防護服の流通在庫が一時的に増加しているものと推測されますが、第３四半期以降においては、市場動向や経済活動の見通しの判断が難しく、防護服等個人用保護具の需要への影響が不透明であること、例年冬から春にかけて、医療機関や家畜関連施設の感染症対策が強化され、防疫作業における個人用保護具の利用が増加する可能性がありますが、現時点では、今後の需要の予測が極めて難しいことより、連結及び個別とも、業績予想を変更しておりません。今後、通期の業績予想を修正する必要が生じた場合は、速やかに開示いたします。

（注）上記に記載されている業績見通し等将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以　上